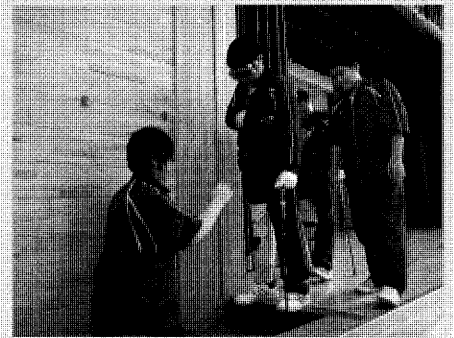
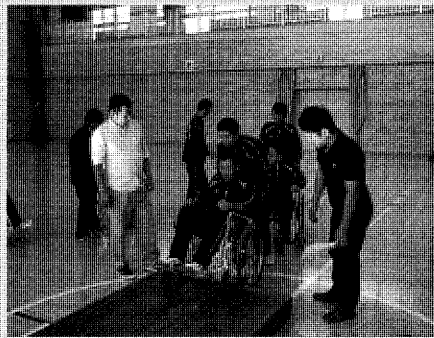
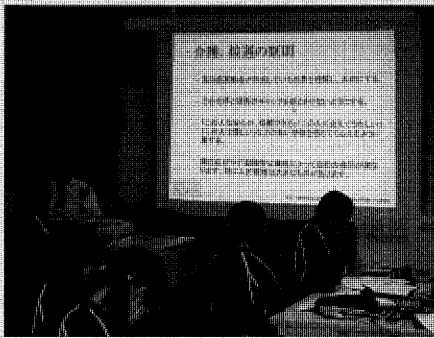


わーくきゃんぷ!

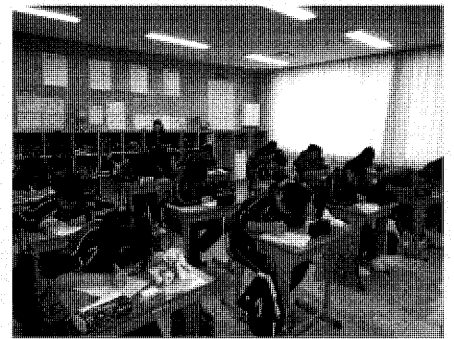


むつみ荘、泊村デイサービスセンターご協力の元、泊中学校2年生を対象とした、高齢者福祉現場体験(ワークキャンプ)が11月5日、6日と2日間行われました。

1日目～高齢者疑似体験・車椅子の操作方法



2日目～福祉現場体験(むつみ荘・デイサービスセンター)



初日、まだお互いに顔を合わせたこともなく、緊張の中で社協谷川事務局長の講義から始まりました。続いてむつみ荘改築指導専門員の福森氏の講義、むつみ荘職員の高橋氏、古川氏の講義を行い、知識とコミュニケーションのコツを勉強しました。

その後、体育館へ移動。むつみ荘職員の佐々木氏、宇治氏による実技体験を行いました。車椅子を使っでの実技体験がその日一番イキイキしているように見受けられました。

車椅子の扱いや高齢に伴う身体の変化を勉強した中学生。2日目はむつみ荘とデイサービスセンターに分かれて、実際に介護の現場を体験しました。学校に戻ってからは2日間を振り返り、中学生たちは「大変だった」「高齢者の気持ちがわかった」など、各々感想を述べていました。今回の経験で、中学生の将来の選択肢に福祉関係が含まれていたら嬉しいです。

